



みやま りんどう



北海道 上川高等学校 令和6年度学校通信 最終号

令和7年3月24日発行

「伝統の継承」と「学びの前進」

校長 近 藤 伸

3月24日（月）に終業式が行われて令和6年度が終了しました。
保護者の皆様をはじめ、上川町の方々、上川町に関係する皆様のご支援をいただき、生徒達の成長が実感できる1年であったことをまずは紙面をお借りして感謝申し上げます。

3月1日に卒業証書授与式が挙行され、3年生は、3年間の高校生活を終えたという大きな充実感とともに、4月からの新しい生活に対する期待と少しの不安が入り交じる気持ちの中、笑顔で卒業していきました。

上川高校に着任して1年。「上川が持つ財産（教育的資源）は何か」と、自問自答しつつ、この財産をどのように生徒達に還元し、生徒自身が「何を学び」「何を身に付け」「何ができるようになるか」を念頭に置いた1年でした。

私なりに感じたのは「自然環境」「素直な生徒」「上川町の魅力的な人たち」という素晴らしい財産（資源）があるということです。この3つの財産（資源）を融合させ、生徒たちが様々な体験をとおして、社会を生き抜く力を身に着けることができるようにしていくことを継続していきますので令和7年度もご支援をお願いいたします。

令和7年度における財産（資源）融合の視点

「自然環境」 大雪山連峰や石狩川という日本有数のフィールド。

「素直な生徒」 あいさつ（A）・時間を守る（T）・マナー（M）。

「魅力的な人」 上川町との連携事業・体験活動。上川町関係機関・企業・町教育委員会
上川町の先輩（町のお兄さん・お姉さん）・地域おこし協力隊
地域活性化企業人・上川高校を応援してくれる人たち（応援団）

上川高校には開校以来、長い歴史の中で築き上げた伝統やアイデンティティがあります。
高校の伝統を継承しつつ（反省も踏まえつつ）、次年度に向けた前進も必要です。
次年度は「学びの前進」を一つのキーワードとして、生徒が成長できる取組を教職員一同で協働していければと考えています。

地域資源（ひと・もの・こと）を最大限活用した教育活動を推進し、「地域の地域による地域のため」の学校として、生徒達は「地域を知り」「地域を学び」「地域を創る」力を確実に身につけることが可能な学びを提供していきます。

上川高校が育成を目指す資質・能力 「K A M I K A W A（かみかわ）」

「K A M I K A W A（かみかわ）」

K A（か）	価値の理解	主体性 実践力・行動力・判断力・レジリエンス	《誠実》	正しい判断
M I（み）	未知の能力	非認知能力 メタ認知・コミュニケーション力・傾聴力	《貢献》	自他の尊重
K A（か）	感謝と創生	地方創生と郷土愛 課題発見力・つながり・自分事	《健康》	明るい生活
W A（わ）	わかる喜び	知性 思考・判断・表現力・読解力・課題解決能力	《自律》	自ら学ぶ

【第66回卒業証書授与式を挙行了しました】

3月1日、上川町長西木光英様、PTA会長佐藤雅子様をはじめ、町内から多数のご来賓の皆様のご臨席と保護者、在校生が出席し、春を感じる柔らかな陽射しの中で令和6年度の卒業式が厳かに執り行われました。

式典では、卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され、校長先生からは「3年間の高校生活は『大変』の連続だったと思うが、『大変』を経験した後は、大きく変わった自分がいた



はず。『大変』を大きく変わるチャンスと考えて、これからも色々なことに挑戦し、『大変』を楽しんでほしい。」との温かい激励のメッセージが送られました。また、来賓の方々からも祝辞をいただき、卒業生たちは真剣な面持ちで耳を傾けていました。

式典の最後に卒業生が保護者席の前に立ち、今まで見守り育ててくれたことへの感謝を伝え、会場は温かな雰囲気包まれる中、大きな拍手で見送られて式場を後にしました



4月		
日	曜	行事
1	火	学期始休業日（～7日）
2	水	
3	木	辞令交付式
4	金	職員会議
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	着任式・前期始業式・入学式
9	水	対面式
10	木	身体測定・尿検査（1次） 胸部X線／心電図検査
11	金	前期HR役員選出 校内推進委員会①
12	土	
13	日	
14	月	前期生徒会委員会計画
15	火	
16	水	
17	木	尿検査②
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	歯科検診・尿検査③
25	金	進路ガイダンス（2年）
26	土	公開授業 PTA総会・学年別懇談会
27	日	
28	月	公開授業振替休業日
29	火	昭和の日
30	水	

【大変お世話になりました～転出する先生より～】

森長 大輔 先生（旭川東高校・全日制へ）

上川高校での7年間、保護者や地域の皆さまからの温かい支えに、心より感謝申し上げます。

生徒とともに成長し、環境の変化の中で多くの学びを得られました。悩みつつもやり抜く力を信じて歩んだ日々は、私にとってかけがえのない財産です。

これからも上川高校と地域の発展を願い、新たな環境でさらに成長を目指します。本当にありがとうございました。



田村 愛星 先生（新採用で鷹栖高校へ）

1年間、大変お世話になりました。教員生活の第一歩を踏み出すことができた上川高校での日々は、この先忘れることはありません。

生徒達の成長を感じながら、私もたくさんの経験をさせてもらい、養護教諭として成長することができました。本当に感謝しています。

これからも皆さんが健康で楽しい学校生活を送れるよう、願っています。



【令和6年度末にあたり】

1年間、本校の教育活動を温かな目で見守るとともに多大なるご支援とご理解をいただき感謝申し上げます。

令和7年度も「地域の、地域による、地域のための学校」として皆様に信頼されるとともに、応援される教育活動を展開できるように教職員一同、創意工夫と挑戦を続けて参りますのでご協力を宜しくお願い致します。